SAP Concur リリース ノート

製品共通の今後の変更予定

Professional Edition、**Standard** Edition、および **Small Business** Edition に適用

月	対象
リリース日: 2021 年 12 月 11 日 英語版の投稿: 12 月 10 日 金曜日	SAP Concur をお使いのお客様 **最終版**

このドキュメントの変更予定は、**複数**の SAP Concur ソリューションまたはサービスに適用され、今後のリリースで提供される予定です。**単一**の製品やサービスに適用される変更予定について:

- Professional Edition については、**Professional** Edition リリース ノートをご参照ください。
- Standard Edition については、**Standard** Edition リリース ノートをご参照ください。
- Small Business Edition については、**Small Business** Edition リリース ノートをご参照ください。
  （日本語のリリースノートはこちらのページからアクセスしてください）

このドキュメントに記載されている新機能および機能変更の実装を延期（あるいは完全に削除）する権利は SAP Concur が所有するものとします。

目次

今後の変更予定 1

FAX 機能 1

** 変更予定 ** FAX 機能の廃止 1

製品設定 2

変更予定 製品設定ページの機能拡張 2

リリース ノート 4

** 変更予定 ** 製品共通の変更予定を新しい共通変更リリース ノートに移行 4

リリース: 簡略化された管理者サマリーの提供 6

SAP Concur サポート 6

** 変更予定 ** 提案ソリューション（Solution Suggestions）の移行 6

セキュリティ 8

** 変更予定 ** 一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（2022 年 2 月） 8

推奨環境 10

** 変更予定 ** Internet Explorer 11 のサポートの変更 10

テスト エンティティ 11

リリース: テスト エンティティ データのメンテナンスおよびエンティティの削除 11

** 変更予定 ** 未移行の支払先管理の監査証跡 11

変更予定 メール照合 13

** 変更予定 ** テスト エンティティのログイン更新 15

変更予定 移行対象外になる [最近使用されたもの] リスト 17

お客様へのお知らせ 21

アクセシビリティ 21

アクセシビリティの強化 21

サポートされているブラウザ 21

サポートされているブラウザおよびサポートの変更 21

法的免責事項

この提示物の内容は、SAP SE または SAP の関連会社の機密の専有情報であり、SAP SE またはそれぞれの SAP の関連会社の許可なく開示することはできません。この提示物は、SAP SE またはその関連会社とのライセンス契約またはその他何らかのサービス契約やサブスクリプション契約に拘束されることはありません。SAP SE およびその関連会社は、このドキュメントまたは関連の提示物に記載される業務を遂行する、またはそこに記述される機能を開発もしくはリリースする義務を負いません。このドキュメント、または関連の提示物、および SAP SE または SAP の関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、またはプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE およびその関連会社により随時、理由の如何を問わずに予告なしで変更される場合があります。このドキュメントに記載する情報は、何らかの具体物、コード、または機能を提供するという確約、約束、または法的義務には当たりません。このドキュメントは、商業性、特定目的への適合性、または非侵害性の黙示的保証を含めて、明示または黙示を問わず、いかなる種類の保証をも伴うものではありません。このドキュメントは情報提供のみを目的としており、契約に取り入れられることはありません。SAP SE およびその関連会社は、SAP SE または SAP の関連会社の意図的な不当行為または重大な過失に起因する損害を除き、このドキュメントの誤記または脱落について一切の責任を負わないものとします。

将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。

今後の変更予定

以下の機能と変更は、今後のリリースで提供予定です。ただし実装を延期（あるいは完全に取り消し）する権利は SAP Concur が所有するものとします。

FAX 機能

** 変更予定 ** FAX 機能の廃止

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional、Standard	Professional、Standard	--	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 11 月		--		2022 年第 2 四半期	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

今後のリリースで、Concur Fax 機能は廃止されます。この変更は、2022 年後半を予定しています。

NOTE: Fax 機能は 2020 年に廃止されました。2020 年 7 月 15 日以降に導入したお客様はこの機能にアクセスできません。アクセスできるお客様の内、定期的にこの機能を使用するお客様はごくわずかであり、使用するお客様のなかでも使用頻度は着実に減少してきています。

業務目的とユーザーへの利点

Fax 機能の削除により、SAP Concur ソリューションのセキュリティ、パフォーマンス、および拡張性が向上します。

また、Concur Fax 機能がファイルを添付するのは経費や請求書のヘッダー レベルに限られています。結果として、Fax 機能を使用するお客様の場合、行項目レベルのイメージや添付ファイルのみに適用される最新のイノベーションを利用することができません。

ユーザーへの表示

Concur Expense や Concur Invoice で送信票を印刷するオプションが表示されなくなるほか、経費や請求書に添付するためにイメージを SAP Concur に Fax する機能がなくなります。

設定とアクティブ化

この変更は自動的に実施されます。設定は必要ありません。

この変更に関する追加情報は、今後数ヶ月間に渡って公開される予定です。

製品設定

変更予定 製品設定ページの機能拡張

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Standard	Standard	Standard	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 8 月 13 日		2021 年 11 月 10 日		2022 年第 1 四半期	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

SAP は Concur Standard Edition の **[製品設定]** ページの改善を行う予定です。

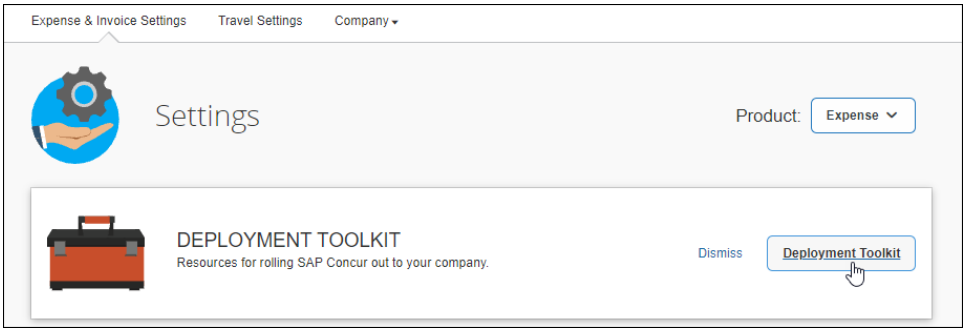
業務目的とユーザーへの利点

[製品設定] ページの機能を向上します。

管理者への表示

必要な管理アクセス許可を持つユーザーには次の機能強化が表示されます。

- **[導入から運用までの手引き]** への新しいリンクがページの上部に表示されます。



  [非表示にする] をクリックすると、**[導入から運用までの手引き]** リンクをページから恒久的に非表示にすることができます。

- **[勘定]**、**[経費の経費タイプ]**、**[従業員への支払]**、または **[税設定]** の設定ページで必須情報が欠落している場合、**[製品設定]** ページの上部と影響を受ける設定のタイルにアラートが表示されます。
  - たとえば、**[経費の経費タイプ]** ページでまだ経費のタイプがアカウント コードに対応付けられていない場合、**[製品設定]** ページの上部と **[経費の経費タイプ]** タイルにアラートが表示されます。
- 設定ページで必須情報が欠落している場合、影響を受ける設定ページの上部にアラートが表示されます。
  - たとえば、消費税設定がまだ設定されていない場合、**[課税 - 付加価値税の追跡をアクティブ化]** ページの上部にアラートが表示されます。

設定とアクティブ化

これらの機能強化は自動的に実装されます。設定やアクティブ化は必要ありません。

リリース ノート

** 変更予定 ** 製品共通の変更予定を新しい共通変更リリース ノートに移行

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional Standard	Professional Standard	Professional Standard	Professional Standard	Budget TripLink
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 12 月 3 日		--		2022 年 1 月	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

2022 年 1 月のドラフト版リリース ノート以降、SAP Concur 製品間で共通の変更、共通の変更予定、および SAP Concur の中核技術の変更は新ドキュメントの「製品共通の変更のリリース ノート」で公開されます。現行の「製品共通の変更予定のリリース ノート」はこのドキュメントに置き換わります。

製品共通の機能、中核技術機能、および変更には以下のものが含まれます。

- セキュリティ関連の変更 – セキュリティ証明書の年次更新、セキュリティ暗号サポートの変更、セキュリティ プロトコル サポートの変更やユーザー名およびパスワード要件の変更など。
- すべての製品に影響を与える UI 設計の変更 – SAP Concur ホーム ページの機能や外観の変更、サイト ヘッダーやフッターのリンクの追加または削除、ユーザー プロファイル ページの変更、SAP Concur サイトの全体的な外観と操作性に影響を及ぼすテーマの変更など。
- サインイン プロセスの変更 – サインイン機能の追加または削除、URL の変更、ドメイン名の変更、確認済みメールの確認変更など。
- 運用環境またはテスト環境の変更。

- サイト全体の設定に影響を与える変更、グローバル設定の変更、およびサイト全体またはグローバルの設定を設定するページの変更 – [ユーザー管理] ページ、Standard Edition の [製品設定]、新しい管理ツールの導入など。

現行のプロセス

SAP Concur ユーザー支援は個々の月次リリースと連携して、「製品共通の変更予定のリリースノート」を発行しています。このドキュメントには、SAP Concur が今後実装する計画の共通機能や中核機能、および変更内容が記載されています。変更が正式にリリースされると、製品固有のリリース ノート（例: Concur Expense、Concur Invoice、Concur Request や Concur Travel のリリース ノート）に変更のリリースや実装内容が割り当てられ、文書化されます。

新しいプロセス

2022 年 1 月以降、共通機能や中核機能、および既存の共通機能や中核機能の変更の実装内容は新しい「製品共通の変更リリース ノート」に記載されます。このプロセスは予定された変更である場合と正式にリリースされる場合に適用され、製品固有のリリース ノートへのリリース ノートの割り当ては終了します。

ある製品に固有の変更や製品の機能、管理者用 UI やエンドユーザー用 UI の変更については引き続きその製品のリリース ノートに記載されます。

業務目的とユーザーへの利点

この変更では、情報の重複を減らすほか、製品固有のリリース ノートにはその製品に特化した情報のみを記載して、SAP Concur 共通の変更および中核技術の変更に絞った単一のソースを提供します。

設定とアクティブ化

このプロセスは自動的に行われます。

リリース: 簡略化された管理者サマリーの提供

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	—
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 11 月		2021 年 11 月 29 日		2021 年 12 月	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

この機能/変更はリリースを予定しています。この機能/変更の詳細については、上記の表にある該当製品のリリース ノートをご参照ください。

SAP Concur サポート

** 変更予定 ** 提案ソリューション（Solution Suggestions）の移行

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 11 月 5 日		--		2022 年第 1 四半期	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

2022 年の第 1 四半期に、SAP Concur が提供する Solution Suggestions プラットフォームは SAP Continuous Influence – Improvement Requests プログラムに移行されます。

この変更により、サポート問合せ権限の保持者 (ASC) ユーザーが各 SAP Concur Customer Influence プログラムに関わる際に向上した操作性と単一の場所を提供します。

NOTE: この変更をサポートするために、SAP Concur は 2021 年 12 月 1 日以降に Solution Suggestions プラットフォームに提出された提案の確認を停止します。

📖 詳細については、「SAP Continuous Influence Sessions」をご参照ください。

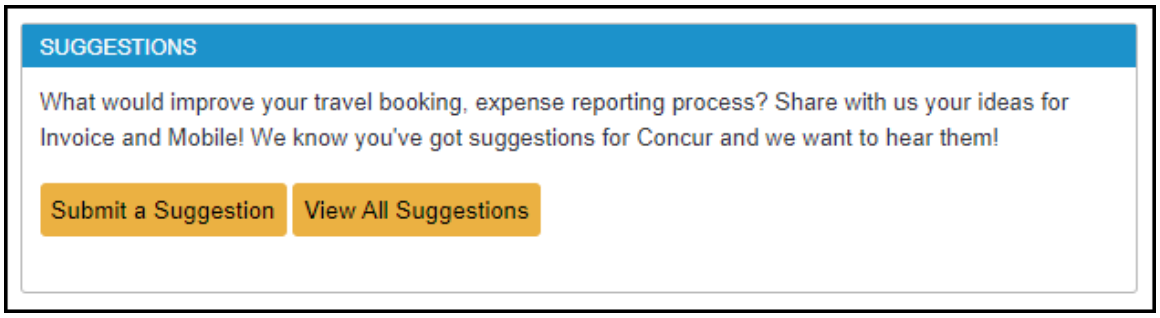
業務目的とユーザーへの利点

SAP Concur は、より多くの機能を備えた優れたツールの提供に加えて、ASC ユーザーのアイディアを確認、検討、実施する全過程の改善を進めています。

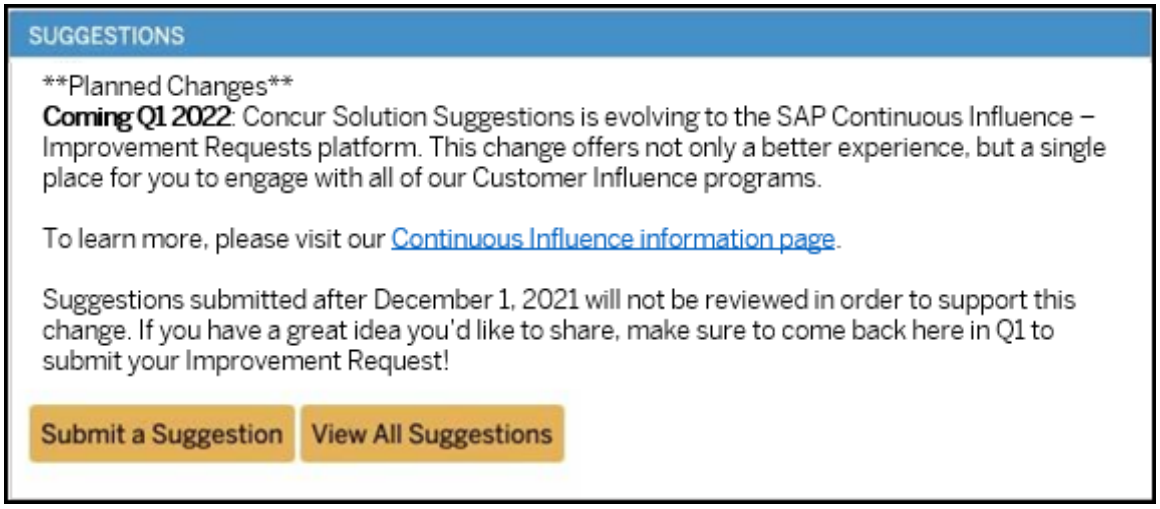
ユーザーへの表示

11 月のリリース以降、サポート問合せ権限の保持者のユーザーには、**[サポートへのお問い合わせ]** ページに **[提案]** セクションが表示されます。**[提案]** セクションが ASC ユーザーに表示されるかどうかは会社の設定によって異なります。

更新前



更新後



設定およびアクティブ化

この変更は自動的に有効になります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

セキュリティ

** 変更予定 ** 一部の TLSv1.2 暗号が非サポートに（2022 年 2 月）

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 8 月 13 日		2021 年 11 月 5 日		2022 年 2 月 1 日	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

2022 年 2 月 1 日以降、SAP Concur ソリューションは、次の TLSv1.2 暗号を使用する *.concursolutions.com および *api.concursolutions.com への接続のサポートを終了しました。

- AES256-GCM-SHA384
- AES128-GCM-SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA

*.concursolutions.com および *api.concursolutions.com への接続が中断されないようにするために、サポートされていない暗号を使用するアプリケーションを介して *.concursolutions.com または *api.concursolutions.com に接続しているお客様およびパー

トナーは、アプリケーションを 2022 年 2 月 1 日までにサポートされている暗号にアップデートする必要があります。

次の暗号がサポートされています。

- ak-akamai-2020q1
- TLS-AES-256-GCM-SHA384
- TLS-CHACHA20-POLY1305-SHA256
- TLS-AES-128-GCM-SHA256
- ECDHE-ECDSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-ECDSA-AES128-GCM-SHA256
- ECDHE-RSA-AES256-GCM-SHA384
- ECDHE-RSA-AES128-GCM-SHA256
- ECDHE-ECDSA-CHACHA20-POLY1305
- ECDHE-RSA-CHACHA20-POLY1305

業務目的とユーザーへの利点

この更新により、SAP Concur 製品やサービスに必要なセキュリティが引き続き提供されます。

設定とアクティブ化

*.concursolutions.com および * api.concursolutions.com への接続が中断されないようにするために、サポートされていない暗号を使用するアプリケーションを 2022 年 2 月 1 日までにサポートされている暗号を使用するようにアップデートする必要があります。

推奨環境

** 変更予定 ** Internet Explorer 11 のサポートの変更

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	Professional、Standard	Intelligence
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 6 月 11 日		2021 年 10 月 7 日		2022 年 1 月 1 日	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

2022 年 1 月 1 日、SAP Concur は、Internet Explorer 11（IE 11）のサポートからの移行を開始する予定です。この変更は、他の SAP ソリューション、業界のベスト プラクティス、および IE 11 に関する Microsoft のライフサイクル ポリシーに沿ったものです。

NOTE: Cognos 11 がすべての Analysis および Intelligence のお客様に公開されるまで、サポートを提供し、Cognos 10 および IE 11 に関連する問題の調査の例外を許可します。詳細については、「Cognos 11 ユーザー インターフェースの更新 FAQ」を参照してください。

2022 年 1 月 1 日以降、SAP Concur 開発チームは、IE 11 を念頭に置いた、新機能、ユーザー インターフェースの機能強化、セキュリティまたはバグ修正を行いません。時間の経過により、新機能と既存の機能が IE 11 で正しく機能しなくなる可能性があります。

IE 11 を使用している場合、SAP Concur ユーザーのアクセスがブロックされることはありません。引き続き SAP Concur ソリューションにサインインできます。ただし、ユーザーが SAP Concur ソリューションを引き続き正常かつ安全に使用できるようにするために、SAP は IE 11 での SAP Concur ソリューションの使用を許可せず、より最新のサポートされているブラウザーに移行することをお勧めします。

業務目的とユーザーへの利点

この変更により、SAP は最新のブラウザ イノベーションの採用を促進し、より強力なセキュリティ体制を提供できるようになります。

設定とアクティブ化

設定のステップはありません。この変更は自動的に行われます。

📖 詳しくは、「Internet Explorer 11 Support Policy Change FAQ」をご参照ください。

テスト エンティティ

リリース: テスト エンティティ データのメンテナンスおよびエンティティの削除

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional	Professional	Professional	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 11 月 24 日		2021 年 12 月 3 日		2021 年 12 月 6 日	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

この機能/変更はリリースを予定しています。この機能/変更の詳細については、上記の表にある該当製品のリリース ノートをご参照ください。

** 変更予定 ** 未移行の支払先管理の監査証跡

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	--	Professional	--	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 10 月		--		2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、テスト エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、テスト エンティティを移行する予定です。

📖 詳細は、「SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ」をご参照ください。

テスト エンティティの移行時、[支払先管理] にある支払先に関連付けられている支払先の監査証跡は移行されません。移行後に支払先情報に変更が加えられると、監査証跡が再構築されます。

NOTE: この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成されたテスト エンティティに適用されます（今後に予定）。

業務目的とユーザーへの利点

AWS で、テストエンティティは、運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンスレベルの恩恵を受けることができます。

管理者への表示

必要なアクセス許可を持つ管理者が支払先の [**監査証跡]** ページに移動すると、**[監査証跡]** ページにエントリは表示されません。

設定とアクティブ化

この変更は、テスト エンティティが新しい AWS 環境に移行する際に発生します。設定やアクティブ化を行う必要はありません。

📖 支払先の作成と承認機能の詳細については、ユーザー ガイド「Invoice: 支払先管理」をご参照ください。

変更予定 メール照合

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional	Professional	Professional	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 8 月		2021 年 10 月 7 日		2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、テスト エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、テスト エンティティを移行する予定です。

📖 詳細は、「SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ」をご参照ください。

テスト エンティティを AWS 運用環境に移行する際、既存のテスト エンティティの照合済メールは新しいテスト エンティティには引き継がれません。このため、今後のテスト エンティティで照合済メール機能をテストする場合、運用エンティティで設定されたメールと異なるメールを従業員が使用することをお勧めします。既存のテスト エンティティのメールは運用環境ですでに照合済である可能性が高く、別のエンティティでは照合できないため、この処理が必要になります。

ユーザーのメール アドレスについては、領収書認識サービスがユーザーのメール アドレスを検証するため、メール アドレスの 1 つのインスタンスのみをユーザー アカウントに関連付けることができます。運用環境でテストを実施するには、運用ユーザー アカウントと現在関連付けられていない代替メール アドレスを使用する必要があります。該当するユーザー プロファイルにすでに関連付けられているメール アドレスを使用して運用環境でテスト アカウントを設定した場合、検証処理が失敗になります。

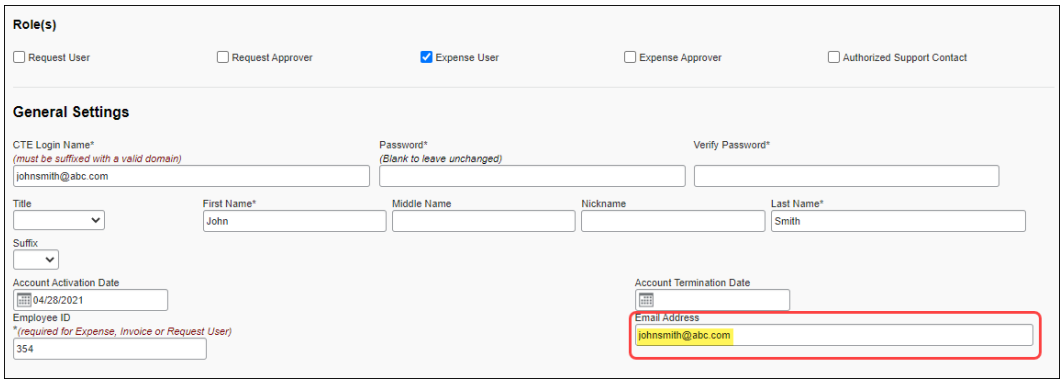
NOTE: この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成されたテスト エンティティに適用されます（今後に予定）。

業務目的とユーザーへの利点

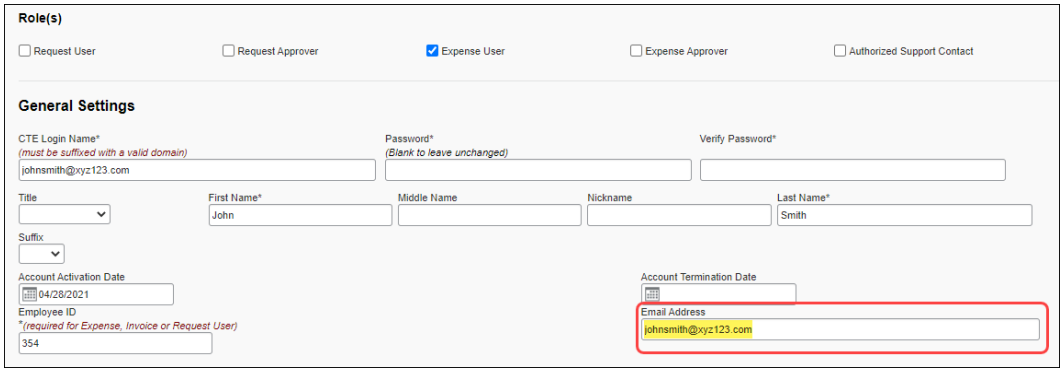
AWS で、テストエンティティは、運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンスレベルの恩恵を受けることができます。

管理者への表示

変更前 – 既存のテスト エンティティの既存のメール



変更後 – 新しい / 今後のテスト エンティティの新しいメール



設定とアクティブ化

これらの変更は自動的に有効になります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

** 変更予定 ** テスト エンティティのログイン更新

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional	Professional	Professional	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 8 月		2021 年 10 月 7 日		2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、テスト エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、テスト エンティティを移行する予定です。

📖 詳細は、「SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ」をご参照ください。

現在、テスト エンティティと運用エンティティは別の環境にあるため、同一のログイン ID を保持することができます。今後テスト エンティティと運用エンティティを同じ AWS 運用環境に移行させる予定があり、各ログイン ID は一意である必要があることから、同一のログイン ID を保持できなくなります。

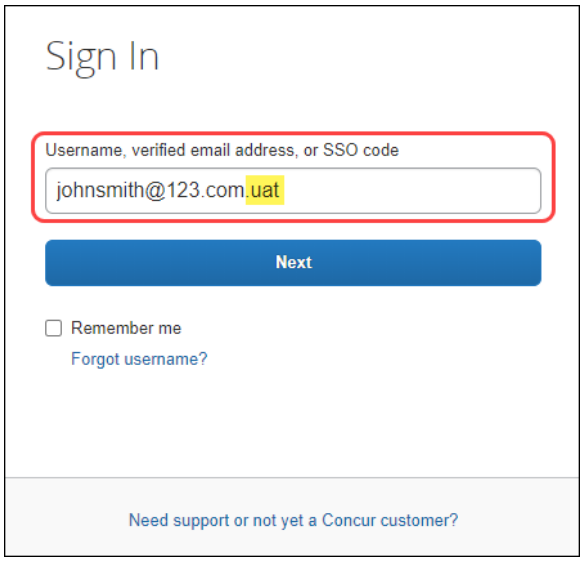
この更新に関する操作は必要ありませんが、テスト エンティティの特定のエリアで変更が表示されることから、お客様に内容を把握していただきたいと考えています。この変更を考慮し、ログイン ID が一意であることを保証し、既存の運用ログイン ID と競合しないようにするため、SAP Concur は移行時およびユーザー作成時の両方でテスト エンティティのすべてのログイン ID に「.uat」ドメインを追加します。たとえば、johnsmith@123.com の場合は johnsmith@123.com.uat になります。

! **重要**: SAP Concur の自社データ センターにある現行の運用環境のログイン ID に行われる変更はありません。

この処理は、移行時とユーザー作成処理時の両方で、バックグラウンドで行われます。この処理は SAP Concur が管理するため、ユーザーがログイン ID を変更する必要は**ありません**。

移行ユーザーの場合は、AWS に移行する以前に使用していた実装 URL とログイン ID をそのまま使用できます。

新規ユーザーの場合は、ドメインを追加したログイン ID（たとえば、図示のように johnsmith@123.com.uat）と運用 URL を使用します。



この変更により、運用ログイン ID との競合を防ぐことができます。

ユーザー作成: さらに、運用時とまったく同じ従業員インポート ファイルを使用できます。.uat ドメインは、FTP インポート、Excel インポート、エンティティ復元など、ユーザー作成のあらゆる要素にも適用されます。

抽出: 勘定抽出や財務統合のドキュメント生成時、SAP Concur はユーザー作成時に追加されたログイン ID から .uat ドメインを自動的に削除します。これにより、追加されたドメインの削除など、お客様には一切アクションを必要とすることなく、実際的な抽出を生成できます。

NOTE: この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成されたテスト エンティティに適用されます（今後に予定）。

業務目的とユーザーへの利点

AWS で、テストエンティティは、運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンスレベルの恩恵を受けることができます。

設定とアクティブ化

これらの変更は自動的に有効になります。追加の設定やアクティブ化は必要ありません。

変更予定 移行対象外になる [最近使用されたもの] リスト

対象製品:	Expense	Invoice	Request	Travel	その他
Edition	Professional	Professional	Professional	--	--
情報の初回公開日		**最終更新日**		**機能のリリース予定日**	
2021 年 9 月		2021 年 10 月 7 日		2021 年 10 月 1 日～2022 年半ば	
このリリース ノートでは、前回の月次リリース以降の変更を黄色で強調表示しています。					

概要

SAP Concur の一部のユーザーは、本格運用エンティティに導入する前に、テスト エンティティを使用して、新しい設定のセットアップ、テスト、トレーニングを行っています。SAP Concur は Amazon Web Services (AWS) への移行の一環として、テスト エンティティを移行する予定です。

📖 詳細は、「SAP Concur Cloud Platform Strategy FAQ」をご参照ください。

この移行に対応するために SAP Concur が行う必要のあるアーキテクチャ上の変更が原因で、テスト エンティティが新しい環境に移行される際に、テスト エンティティ内の一部の [最近使用されたもの] リスト項目は移行されない可能性があります。

NOTE: [最近使用されたもの] リストはユーザーが最近選択したもので構成されます。このリストは、ユーザーがさまざまなメニューやその他の定義済みリストを操作していくなかで生成されますが、テスト エンティティが新しい環境に移行された後は再生成されることになります。

NOTE: この変更は、AWS 環境に移動または AWS 環境で作成されたテスト エンティティに適用されます（今後に予定）。

業務目的とユーザーへの利点

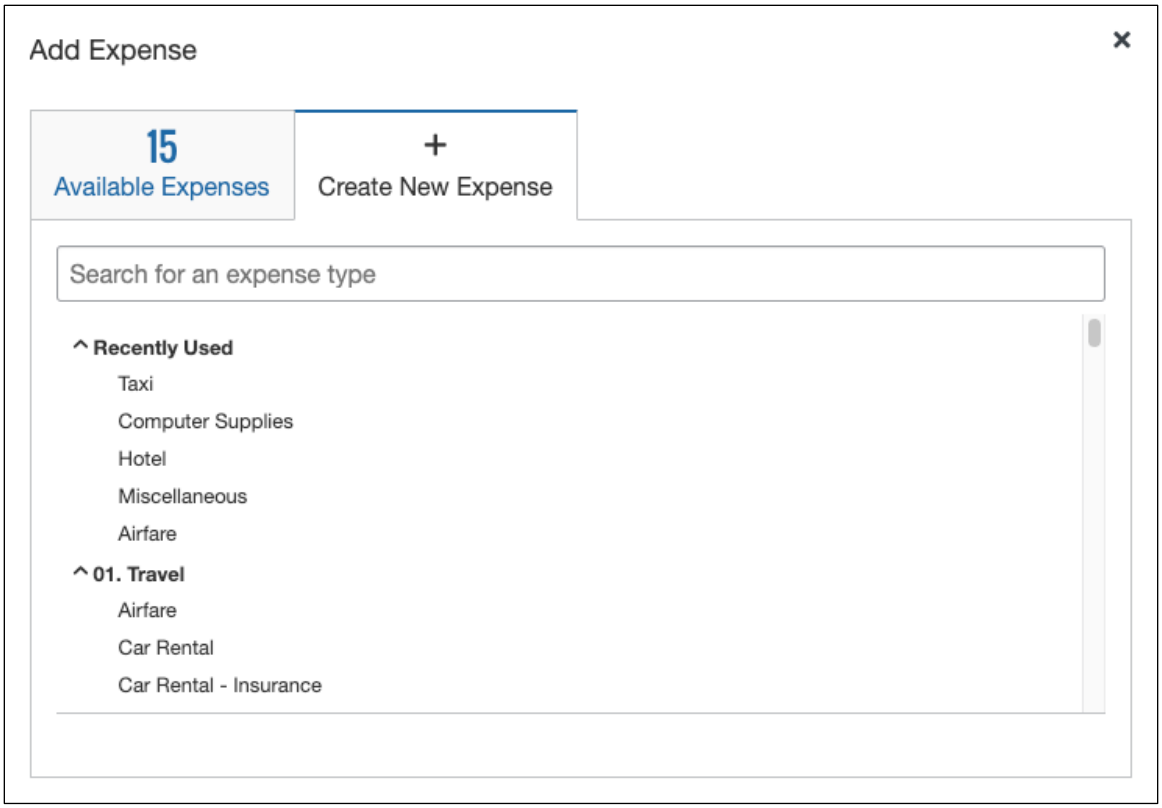
AWS で、テストエンティティは、運用エンティティと同じ安定性、監視機能、パフォーマンスレベルの恩恵を受けることができます。

ユーザーへの表示

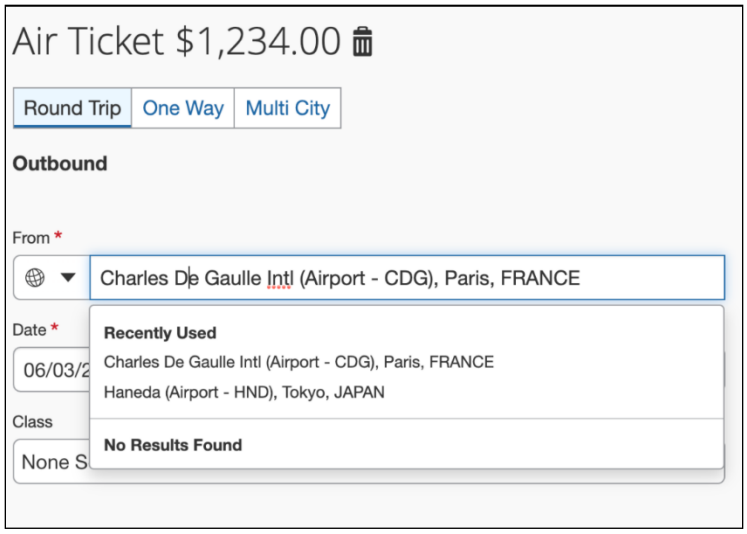
移行後、移行以前に生成された [最近使用されたもの] リストの一部は空になります。このリストは、テスト エンティティの通常の使用で自動的に再生成されます。

次のスクリーンショットは、移行による影響を受けた [最近使用されたもの] リストの例を示しています。

Concur Expense で新しい経費を作成する



Concur Request の新しいセグメント



設定とアクティブ化

この変更は、テスト エンティティが新しい AWS 環境に移行する際に発生します。設定やアクティブ化を行う必要はありません。[最近使用されたもの] リストはエンティティの通常ユーザーで再生成されます。

お客様へのお知らせ

アクセシビリティ

アクセシビリティの強化

SAP は、現在の Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) に合わせて変更を実装します。SAP Concur ソリューションに対するアクセシビリティ関連の変更については、四半期ごとに公開しています。四半期ごとの更新は、「アクセシビリティの更新」（英語のみ）ページで確認できます。

サポートされているブラウザ

サポートされているブラウザおよびサポートの変更

サポートされているブラウザ、およびサポートされているブラウザに予定されている変更については、「Concur Travel & Expense Supported Configurations」ガイドをご参照ください。

ブラウザのサポートに変更が予定されている場合、変更に関する情報が製品共通の変更予定のリリース ノート（日本語）でも提供されます。